

実証実験について

① 春休みの実証実験内容

◇目的

かすがいシティバスの利用促進を目的として、1日乗車券を減額するとともに、小人適用の年齢範囲を見直し、普段使用しない客層の取り込みを図る。

中学生が春休みの時期に、次のとおり実証実験を行う。

◇実証実験期間 平成 31 年 3 月 20 日 (水) ~ 平成 31 年 4 月 7 日 (日)
19 日間

◇実験内容

● 1 日乗車券 100 円減額

適用区分	従来	減額後
大人	500 円	400 円
小人 高齢者（75 才以上の高齢者カード保有者） 運転免許自主返納者、妊婦	300 円	200 円

● 小人適用年齢拡大 15 歳まで拡大（従来は 12 歳まで）

（13 歳～15 歳までの者に、年齢証明証を発行）

市内 17 中学校在籍生徒全員に配布。

【周知方法】

- ・ 広報かすがい及び市 HP に掲載

通常運賃

	年齢(才)												
	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19~
従来	← 100円 →					← 200円 →							
実証実験	← 100円 →					← 100円 →			← 200円 →				

- ・ 市内各学校で生徒に配布(市外学校通学者は申告制)

② 春休み期間の実証実験結果について

日時		利用者(人)	大人1日乗車券(枚)	小人1日乗車件(枚)	高齢者・返納者・妊婦(枚)
平成27年	3月	25,734	65	2	19
平成28年	3月	27,540	69	2	46
平成29年	3月	28,541	39	0	45
平成30年	3月	28,115	52	1	38
平成31年	3月	28,193	45	10	70

内(割引利用 16) 内(割引利用 8) 内(割引利用 43)

中学生カードの利用者総合計

中学生の提示数 44 (1日あたり 2.3回)

参考

大人1日乗車券の提示数 67

小人1日乗車券の提示数 12

高齢者1日乗車券の提示数 135

○良かった点

- ・ 普段シティバスにのる機会のない人へ PR を実施
- ・ 高齢者、返納者、妊婦の1日乗車券の販売が増化

○悪かった点

- ・ 利用者全体の利用者は大きく増加していない
- ・ 期間が短い

○考察

- ・ 小人、高齢者、返納者、妊婦の1日乗車券の販売が増したが、全体の利用者の増加していなかったことから、新たな客層の取り込みはできなかった
- ・ 大人の1日乗車券の販売が変化していないことから、シティバスの乗り継ぎ需要はない可能性が高い

③ 夏休み期間の実証実験について

◇目的

春休みの実証実験を継続し、普段利用しない人への公共交通の啓発活動を行うことや公共交通の割引や乗り換えに対する市民の負担の軽減を図る制度を検討するのにあたり、効果的かつ安定的にサービスを提供できるように、実証実験を試行し課題の整理を行うため

◇実施期間

令和元年度 7月20日～9月1日 44日間

◇実験内容

● 1日乗車券 100円減額

適用区分	従来	減額後
大人	500円	400円
小人 高齢者（75才以上の高齢者カード保有者） 運転免許自主返納者、妊婦	300円	200円

● 小人適用年齢拡大 15歳まで拡大（従来は12歳まで）

（13歳～15歳までの者に、年齢証明証を発行）

市内17中学校在籍生徒全員に配布。

【周知方法】

- ・ 広報かすがい及び市HPに掲載

通常運賃

	年齢(才)												
	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19～
従来	← 100円 →						← 200円 →						
実証実験	← 100円 →						← 100円 →	← 200円 →			← 200円 →		

- ・ 市内各学校で生徒に配布(市外学校通学者は申告制)